

新年のごあいさつ

大阪府農業会議会長 中谷 清



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスにつきましては、全国で一時的に感染者数は減少しているものの、新たな変異株が現れるなど、今後の見通しが難しい中ではございますが、一日も早くコロナ前の日常を取り戻せることが望まれます。

農林水産省では昨年、将来にわたり農地の持続的な利用を促進するため「人・農地など関連施策の見直し」を取りまとめるとともに、脱炭素社会の実現に

向けた「みどりの食料システム戦略」を策定し、その取り組みを加速することとしています。また、農業委員会を取り巻く情勢と致しましては、昨年6月に規制改革実施計画が閣議決定され、農業委員会の最適化活動の目標設定と、委員の活動記録の徹底、評価・公表が求められることになりました。

今年の通常国会に人・農地関連施策の見直しに関する法案の提出が検討されております。人・農地プランの法定化、地域が目指すべき将来像を描く目標地図の作成など、農業委員会が取り組んでいる「農地利用の最

適化」の活動と課題を踏まえた内容となっております。

委員個々の日常的な見守り、声掛け等の活動を起点とし、委員同士、また関係機関等との情報の共有・連携を図りながら、地域での話し合いを通じて農地利用の最適化に取り組んでいくことが、今後ますます重要となつてまいります。

生産緑地につきましては、「特定生産緑地」の指定申請は6割を超える市町村で今年の3月までに締切日を迎えます。指定促進に向け、意向未定・不明の所有者を優先的に、特定生産緑地指定の必要性や、生産

緑地を残す手段の一つである都市農地の貸借の円滑化に関する法律についても十分な周知を図っていかねばなりません。

このような情勢を踏まえ、農業会議といたしましては、引き続き、大阪農業の活性化のため府及び各委員の皆様から期待されている役割を果たして参りたいと存じますので、これまで同様ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、皆様方にとりまして本年が希望に満ちた佳き年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

新春を迎えて

大阪府知事 吉村 洋文



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、大阪府政

の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者が府内で初めて確認されたから間もなく2年となります。当初は未知のウイルスへの対応に苦慮しましたが、府民のいのちとくらしを守ることを最優先に、府民・事業者の皆さまの多大なご協力をいただきながら、全力で感染防止対策に取り組んでき

ました。昨年も感染急拡大による厳しい時期がありました。ワクチン接種の促進等により感染は落ち着いてきた状況にあります。

ただ、新たな変異株であるオミクロン株が確認されており、感染拡大のリスクは常にあります。引き続き、緊張感を持ってコロナ対策にしっかりと取り組むとともに、府民の皆様には、基本的な感染防止対策の徹底にご理解・ご協力をお願いします。2022年は大阪・関西万博をインパクトに、大阪経済を回復させ、再び成長軌道に乗せて

いく一年としていきます。万博の成功に取り組むとともに、世界の課題解決に貢献するSDGs先進都市をめざしてまいります。

農業分野では、コロナ禍で顕在化した経営リスクへの対応や、力強い大阪農業の実現につながる農業の成長産業化を図るための支援とともに、府民の農への関心の高まりなどの動きや都市にある農のポテンシャルを最大限に活かした新たなライフスタイルの提供など、ポストコロナ社会を見据えた大阪農業の更な

る発展に向け取り組んでまいります。

引き続き、農業委員会、市町村、大阪府みどり公社、JANAなどの関係機関の皆様と連携し、様々な取組みを進めてまいりますので、一層のご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますよう祈念し、新年のあいさつといたします。

